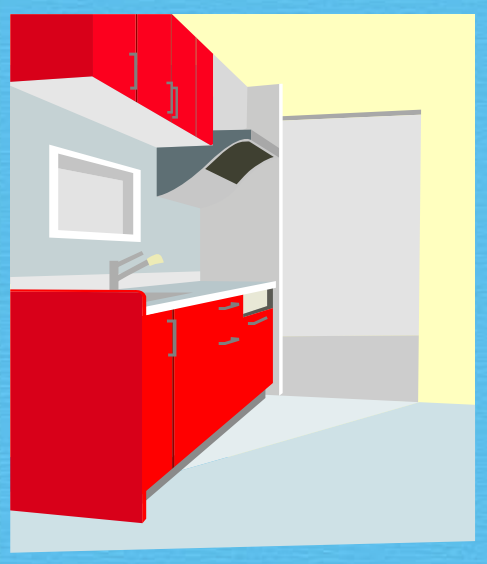
家のお手入れ



クッションフロアの敷き方

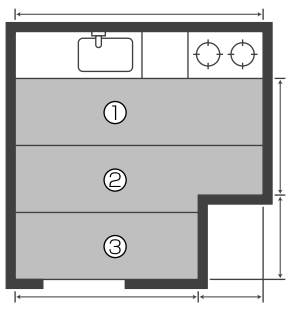
防水性、防音性、弾力性があるクッションフロアは、色柄も豊富なため、台所や洗面所の床のリフォームに最適です。

用意するもの

- □クッションフロア
- □クッションフロア用両面テープ
- □巻き尺
- □大型カッター、ハサミ
- □金属製の定規、押さえベラ
- □マチ針
- □ガムテープ
- □クッションフロア用のシーリング剤
- □アクリル系充てん剤

1 見取り図を作り、床材の必要量を計算する

部屋の寸法を計って正確な見取り図を作成し、床材の幅（90㎝か180㎝）で計画線を入れて必要な長さを算出。それに、それぞれの両端に約５㎝の余分と、柄合わせの分を入れて計算する。購入する際に、見取り図を持って担当者に相談するとよい。

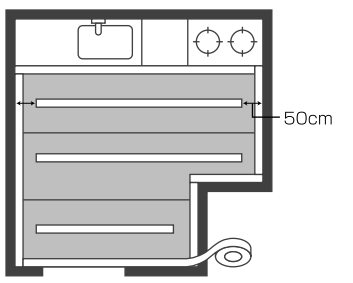


2 床を洗剤拭きする

床が汚れているとテープがしっかりつかないので、そうじ機をかけたあと、住まいの洗剤で拭き掃除をしておく。台所など油汚れのある床面はアルカリ性洗剤で拭いた後、水拭きして乾燥させておくこと。

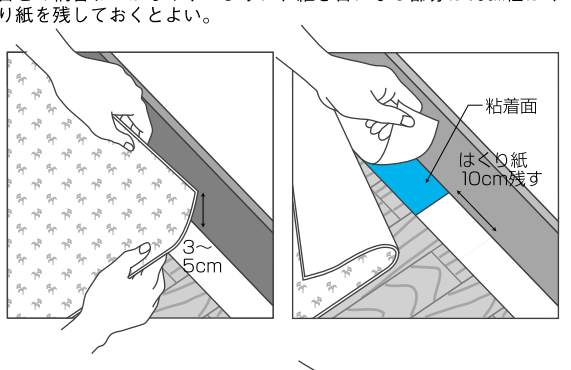
3 クッションフロア用両面テープを床に貼る

壁際にピッタリ合わせて部屋の周囲に両面テープを貼ったあと、浮き上がりを防ぐため、床材の中央になる部分にも壁から50㎝離して両面テープを貼る。



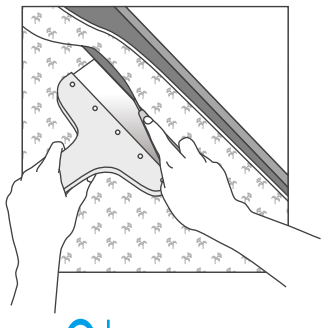
4 1枚目の床材を貼る

ロールになっているクッションフロアを１枚につき両端５　ずつの余分（計10㎝）を加えた長さに切り離す。
柄の位置を考えて、壁際から３～５㎝ほど余った状態になるように１枚目の床材を貼る位置を決め、中央に貼った両面テープのはくり紙をはがして床材を固定する。
床材の端の位置に合わせてカッターで両面テープのはくり紙に切り込みを入れてから、貼る部分のはくり紙をはがす。このとき、２枚目との柄合わせがしやすいように、継ぎ目になる部分は10㎝程はくり紙を残しておくとよい。



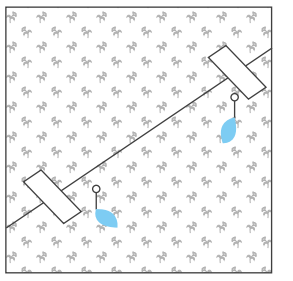
5 1枚目の床材を切る

押さえベラで床材を押さえつけてしっかり角を出してから、カッターの刃を壁に向けて切る。



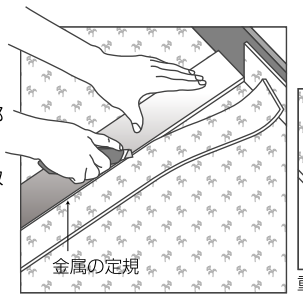
6 2枚目との継ぎ目の柄を合わせる

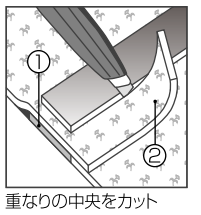
１枚目の床材の継ぎ目に２枚目の床材を重ねて柄の位置を合わせる。このとき、マチ針で上の柄と下の柄の同じ所を差して、２～３カ所止めると確実。きちんと柄が合ったら、布粘着テープで２カ所ほど仮止めする。２枚目の中央の両面テープのはくり紙をはがして固定する。



7 2枚いっしょに切る

２枚目の中央の両面テープのはくり紙をはがして固定してから、１枚目と２枚目の床材が重なった部分の中央に金属製の定規を当て、大型カッターで２枚を１度に切る。切り終えたら①と②の切れ端を取る。

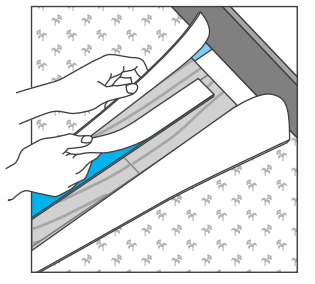




重なりの中央をカット

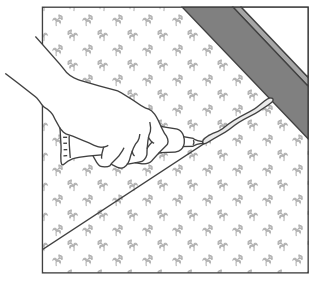
8 継ぎ目を張り合わせる

両方の継ぎ目を少し持ち上げ、テープの中央が継ぎ目にくるように両面テープを床に貼り、そのはくり紙と最初に10㎝残しておいた壁際のはくり紙をはがして、しっかり押しつけて貼る。その後、１枚目と同じ要領で２枚目の壁際の余分を切り取って床に貼る。



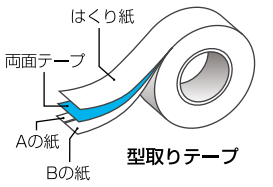
9 継ぎ目をシールする

３枚目以降も同様に貼り、すべて貼り終えたら、水やゴミの侵入、めくれ防止のため、継ぎ目をクッションフロア用のシーリング剤でシールする。



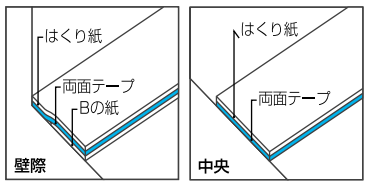
型取りテープを使う方法

クッションフロア用の両面テープには、床に貼る面にもはくり紙がついていて、ＡとＢに分かれるようになっている「型取りテープ」という商品もあります。これを使うと床材の型取りが簡単にできるので、クッションフロアをきれいに敷き込むことができます。床材の張り方は、クッションフロア用両面テープと基本的には同じですが、壁際の処理は以下を参考にしてください。



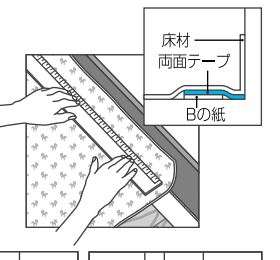
1 部屋の周囲と中央にテープを貼る

両面テープと同じように部屋の周囲と床材を中央部分に型取りテープを貼る。ただ、周囲にテープを貼るとき、型取りテープのＡの紙だけをはがしながら貼ること。中央は型取りをする必要がないので、Ａ、Ｂ両方の紙をはがして貼ればよい。

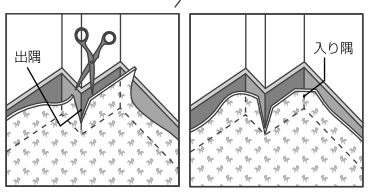


2 壁際の型を取る

床材を貼る位置を決め、中央のテープで床材を固定してから、壁際に貼ったテープのはくり紙をはがして床材を接着させる。このとき、金属製の定規などを壁際に当て、たるみが出ないように角までしっかり押さえて、型を取るのがコツ。

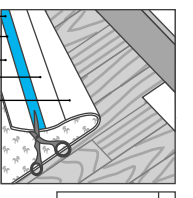


出隅部分は床材の外側から床の角に向かって切り込みを入れ、入り隅部分は、床材の角を三角に切り落としてから型取りをするとよい。この際、切り過ぎたり、角の位置がずれたりしないよう、数回に分けて様子を見ながら慎重に切ること。



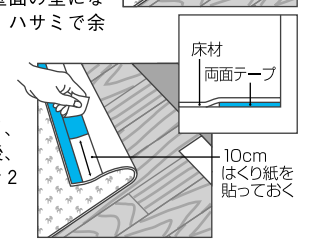
3 床材を本切りする

ここで床材をいったんはがすと、床に貼っていた型取りテープが床材の裏について一緒にはがれる。そのＡ側のラインが壁面の型になっているので、その線にそって、ハサミで余分を切り離す。



4 床材を本張りする

型取りテープのＢの紙をはがして、床材を床に押し付けて貼る。その後、両面テープで張るのと同じ方法で２枚目との柄合わせをする。



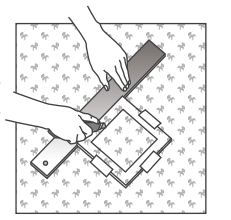
クッションフロアの敷き方

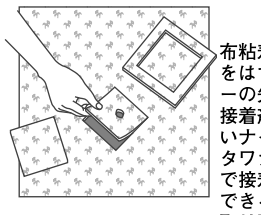
One Point Advice

クッションフロアの部分的張り替え

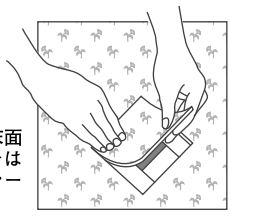
部分的に破れたり、タバコなどで焼け焦げができた場合、同じ色柄のクッションフロアの端材があれば、その部分だけ張り替えて修繕することができます。

床材と同じ色柄の端材をキズ部分より大きめに切り、柄を合わせて重ね、布粘着テープで固定。定規を当てキズ部分より大きく四角にＬ型カッターで２枚一緒に切る。





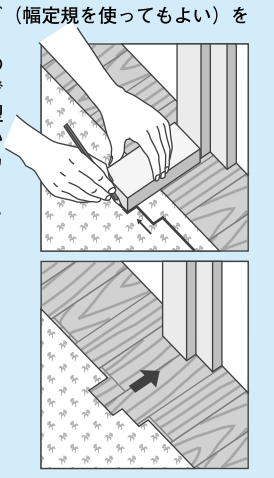
布粘着テープをはがして新しい床材をはずしてから、古い床材をカッターの先などを使ってはがす。床面に接着剤がついていたら、金ベラや粗いナイロンタワシなどで接着剤をできるだけ取り除く。



クッションフロア用両面テープを床面に貼り、新しいクッションフロアをはめ、継ぎ目をクッションフロア用シーリング剤で埋める。

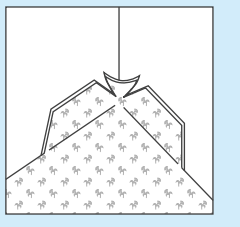
●凹凸部分

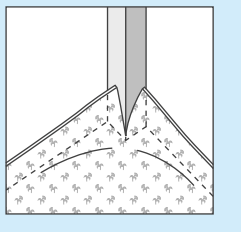
床材を壁と平行に少し離して置いてから、かまぼこの板など（幅定規を使ってもよい）を壁に当ててずらしながら、先の細い水性ペンで正確に壁面の型を写し取っていく。その後、カッターかハサミで型の線を切ってはめ込む。



●コーナー部分

他の壁際を仕上げておいてから、少しずつ切り込みを入れながら押さえベラできめ込んで角を出し、押さえベラを当ててカッターで切る。



●隅に大きな柱がある部分

周辺の壁際の処理する前に床材を持ち上げて角の部分を床に当て、そこまで切り込みを入れてから、壁際をきめ込みで切る。